

平成10年度第1回日本生物物理学会運営委員会議事録

日時：1997年10月12日（日）12：00～13：30

場所：京都大学人間・環境学研究科棟233号室

出席者：松本会長、郷、川戸両副会長、新田北海道支部長、桐野編集実行委員長、太和田10年度年会実行委員長、青木、赤坂、市川、桂、楠見、栗原、中村、永山、八田、藤吉、三木各委員、山田11年度年会実行委員

参考資料：広告収入一覧表

報告事項：

1. 平成10年度年会準備状況（太和田）

資料：報1

会誌12月号に掲載予定の年会開催案内文、10年度年会の準備状況、10年度の他学会の年会開催スケジュールが報告された。

- ・ 旧運営委員会に引き続き、一般講演を口頭のみで行うことに関して意見が続出した。しばらくはポスター形式を続けるという運営委員会の既定路線が十分浸透していなかったことが確認された。一般会員の混乱を考慮し、案内文に、運営委員会で発表形式を注意深く検討している旨の一文を入れることが会長より提案された。
- ・ 口頭発表とシンポジウムがなるべく重ならず独立して行えるような進行を検討すること。
- ・ 年会参加・登録費を10年度から値上げ出来ないかとの要望があったが、財政状況が安定していること、割高感を感じる事などから今回は値上げを見送ることとした。
- ・ 予稿の提出に関しては電子メールを用いるが、トラブルが予想されるので、プログラム作成に必要な演題申し込みのみメールを用い、予稿は印刷したものを後ほど郵送するという方式が提案された。年会実行委員会で協議する。
- ・ 分野別専門委員の選挙の周知について検討する必要があるとの意見が出された。

審議事項：

1. 新運営委員会の役割分担

資料：議1

以下のように決定した。括弧内は9・10年度運営委員。

副会長 川戸 (郷)
庶務 市川 (郷)(木島)
広告 楠見 栗原
書記 (青木)
経理 中村(赤坂)
年会 川戸 (赤坂)
会員 川戸 (永山)
物理学会連絡 八田 (永山)
会誌 (郷、桂)
外交 藤吉 (月原)
企画 重定 (三木)
ホームページ 市川

2. 平成11年度年会開催予定について(川戸、市川) 資料;議2

11年10月12~14の3日間、理化学研究所で開催予定。会場など含め、ポスターもしくは口頭どちらの形式にも対応できるよう準備を進めるとのこと。

3. 会誌発行について(郷、桐野)

Webやメールなどの情報網の発展によりメリットが少なくなっているとの観点に立ち、会誌の月刊化については消極的。

4. 賞選考について(郷) 資料:議5

旧運営委員会から引き継いだ賞・助成金推薦委員会の件につき審議した。旧運営委員会の決定通り、委員長は会長が務め、委員は運営委員があたるが、本件については郷道子副会長に実行の中心をお願いし、生物物理学会として賞・助成金の推薦を大いに積極的に進めることに決定した。本件を積極的に進める趣旨は、生物物理学研究の重要性を社会的に認知してもらうこと及び若手の生物物理研究者の励みとなることをねらいとすることが確認された。

4. 次回運営委員会日程について(松本)

12月20日(土) 13:30~

場所未定